

手作業の技が光る 樹脂押出成形金型

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



丸型から異形状までの金型製造

業務内容

被覆・チューブ押出成形金型のトップブランド

電力線や通信線、機器用コード等、電線の導体を樹脂で被覆するための金型をつくっているのが松村合金ダイス研究所だ。電線は細い導体が数本束ねて被覆される。被覆工程では導体を覆うための樹脂がスムーズに流れることが求められるが、同社では細い導体加工でも高速押出ができるような形状に工夫を凝らしている。

一方、チューブを製作するための押出成形金型や伸線用ダイヤモンドダイスも製造。自動車用ワイヤーハーネスや医療用カテーテル等の金型も手掛け、品質要求が厳しい業界のニーズにも応えている。さらに近年は金型だけでなくストリートヘッドも製造。丸型から異形状状までクロスヘッド、ストリートヘッド用金型やチューブ成形用のストリートヘッド等も取り組んでいる。



ヘッドの加工にも取り組む

強み

仕上げ精度の高い
小径穴加工や複合加工技術

「被覆される電線はどんどん細くなっています。当社では長年のノウハウを活かして対応しています」と松村社長。細いものに対しては最小で直径0・12mmの穴開けが可能。しかも複数の穴を開ける必要がある場合は、金型内部の見えない部分は手作業で加工される。勘だけが頼りの職人の技が光

る。仕上げ公差は数μmという精度を持ち、スーパーコンピュータのケーブル用の被覆用の押出成形金型も同社が手掛けた。

金型は摩耗に耐える能力が求められるが、同社では表面加工も実施。また、金属、超硬加工、ダイヤモンド加工、セラミック加工等、各種素材の対応も可能だ。複数の素材や技術を融合させるオンリーワンの「ハイブリッド加工」も得意とする。

顧客管理

過去のデータを完全保管
クレームゼロを追求

年間の取引は130社にも及ぶ同社だが、過去の設計データや図面はすべて保管している。「お客様側にデータが残っていない場合でも、当社ですぐに図面が取り出せます」と松村社長。担当者が代わった場合やトラブルがあった場合でも対処できるのが強みだ。

また、多様化する素材の対応法の相談にも応じるといふ。提案することも多いが、「お任せ」と一任されることもあるほど信頼を得ている。

「日本で樹脂の押出成形金型を専門的に取り組んでいるのは当社くらいだと思えます。安心してお任せください」。

今後の展望

金型と周辺機器のユニット
製作にも挑戦したい

顧客の要求にもっと応じたい。そんな思いから、今後はチューブ成形の際に金型を取りつけるためのユニット製作にも力を入れたいと語る。より頼れる存在としての活躍が期待される。

COMPANY PROFILE

株式会社 松村合金ダイス研究所

大阪
24

ISO 9001



昭和34年に伸線用合金ダイスの製造・販売を始めました。「ものをつくるだけではない。いかにいい製品をつくるか、お客様のために研究、努力しなければいけない」という意味で「研究所」と名づけました。平成3年に鳥取県米子市に工場を設け、ダイ・ニップル生産を強化しました。先代の「1か所に留まっていたは退化するだけ」という言葉を胸に、進歩していきたいと思えます。

ものづくりとは、人の持つ無限の可能性を
開拓し、より良い製品を創造すること。

代表取締役社長 松村 謙三さん



■主な事業内容
電線被覆・チューブの押出成形金型の製造等

■主な取引先(納入先)
樹脂押出成形金型製造メーカー等

住所 / 〒579-8031
東大阪市豊浦町2-2
TEL / 072-988-1115
FAX / 072-987-8643
創業 / 昭和34年3月
設立 / 昭和46年5月
資本金 / 1,300万円
従業員 / 21名

<http://www.matsumura-die.co.jp/>